



対がん協会報

公益財団法人 日本対がん協会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町センタービル(マリオン)13F
☎(03) 5218-4771 <http://www.jcancer.jp/>

第568号 2011年(平成23年) 2月1日(毎月1日発行)

主な内容

- 2～3面 がん征圧月間 各地のイベント
- 4～5面 がん検診実施状況で浮かんだ課題
- 6～7面 がん検診実施状況から乳がん・子宮頸がん
- 8面 テレコムサービスがチャリティ携帯

第1回目の受賞者は岡山大学の増田絃子さん マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞 東京アメリカンセンターで授賞式



垣添・日本対がん協会長とボーグラー・米テキサス大MDアンダーソンがんセンター教授に祝福される増田絃子さん

日本対がん協会が、米テキサス大学MDアンダーソンがんセンターと連携して設けた「マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞」の第1回目の受賞者が、岡山大学大学院医歯薬学研究所の増田絃子さん(32) = 腫瘍外科 = に決まり、1月11日に東京都港区赤坂の東京アメリカンセンターで授賞式が行われた。増田さんは4月から1年間、MDアンダーソンがんセンターで研修する予定。授賞式は、一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト

と共催で、東京アメリカンセンターの後援を受けた。

授賞式では、日本対がん協会の箱島信一理事長の挨拶に続いてジェイムス・ズムウォルト駐日アメリカ大使館首席公使が「将来ある日本の若手研究者が米国で研修することは非常に素晴らしいことです。アメリカと日本の研究開発費を合わせると世界の4割を占めます。日米の交流は全世界が恩恵を受けることにつながります」と祝辞を述べた。

MDアンダーソンがんセンターの国際交流プログラ

ムの責任者であるオリバー・ボーグラー教授が「実りの多い研修になることを期待しています」と述べて増田さんに賞状を授与。日本対がん協会の垣添忠生会長が奨励金(100万円)の目録を贈って激励しました。

増田さんは「受賞できるなんてとても信じられませんでした。リレー・フォー・ライフに集うみなさんの代表として米国の最先端のがん医療を学んで日本で役立てたい」と抱負を話した。

授賞式に続いて、東京アメリカンセンターのアン・M・カンバラ館長の挨拶でレセプションが始まり、日本対がん協会のほほえみ大使、アグネス・チャンさんも祝福にかけつけて増田さんと歓談した。

この奨励賞は、がん医療に携わる日本の若手医師に、全米屈指のがん専門病院である同センターで1年間、研修してもらうプログラム。患者とのコミュニケ

ーションを図るのはもとより、医療者同士、さらに社会とのコミュニケーションをどのように図っていいか、また臨床試験はどう進めるか……などについて幅広く学んで、日本の地域のがん医療をひっばっていく医師を養成することが目的。希望者を全国に公募している。

患者・家族の支援イベントとしてアメリカ対がん協会(ACS)との連携の下、日本対がん協会が各地の実行委員会と開催しているリレー・フォー・ライフで集められた寄付金をもとに運営。対がん協会では、日本から米国への留学生の激減が懸念される中、このプログラムをより発展させていく方針だ。

2011年度については近く公募する計画。問い合わせは日本対がん協会マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞係(03-5218-4771)へ。

がんホットライン 月～日 午前10時～午後6時
03-3562-7830

日本対がん協会は、看護師や社会福祉士が、がんの不安や生活の悩みの相談に電話で応じる「がんホットライン」を開設しています。祝日を除く毎日午前10時から午後6時。相談時間は20分までで予約は不要です。このほか、事前の予約制で、専門医による電話や面接の無料相談も実施中です。予約やお問い合わせは月～金の午前10時から午後5時までに、03-3562-8015(予約専用電話)へ。

がん征圧月間行事 平成22年度 道府県・地区大会、研修会

| | |
|-----|--|
| 北海道 | 第43回がん予防道民大会を小樽市で開催。がん予防功労表彰や特別講演を行った。会場ロビーでは、NPO法人ブレイブサークル運営委員会の協力のもと、大腸がん啓発のパネルを展示。また、婦人団体の協力により乳がん啓発のティッシュ配布も同時に行った。 |
| 青森 | 「ヘルシーあおもりフェア2010」「よもぎた村民際」に参加、パネル展示などを行った。また、「がん征圧フォーラム2010」を開催、映画「私の胸の思い出」を上映した。新聞への広告掲載、施設や県庁に横断幕や垂れ幕を掲示して征圧月間をPRした。 |
| 岩手 | 岩手県と協賛でテレビCMを実施したほか、幅広い年代層から支持されているIBCラジオの「ワイドステーション」番組内にて、子宮頸がん予防ワクチン費用を全額補助した町の担当者や、乳がん体験者の会の代表者などが出演し、普及啓発活動を実施した。 |
| 宮城 | 宮城県・仙台市と共に、がんに関する正しい知識とがん検診を広く啓発するための予防展を開催した。500人の来場があった。 |
| 秋田 | 健康「チェック&ケア」フェスタで前立腺がん検診、骨粗鬆症検診、体力測定、各種測定(血圧・体脂肪・一酸化炭素濃度)、健康相談を無料で行った。あけぼの秋田会員は、触診モデルを使って、乳がん検診の大切さやマンモグラフィの有効性について説明をした。社団法人秋田県栄養士会会員による体脂肪測定後、栄養相談も行った。 |
| 山形 | 例年行っていた街頭キャンペーンに、「健康啓発イベント」と「健康啓発セミナー」を併せたイベント「みんなで広げよう健康の輪2010」を、協力団体と共に全職員で実施し、来場者・ラジオの聴衆者等、広く県民へがん征圧を呼びかけた。 |
| 福島 | がん征圧月間に併せ、9月4日・5日の両日にわたり福島県立医科大学において「リレーフォーライフ2010in福島」を開催した。県内では初となるがん啓発チャリティーイベントには県内外から延べ3000人の参加があり、がんへの理解を深めるよりよい機会として、積極的にがん撲滅のための普及啓発運動を展開することができた。 |
| 茨城 | がん征圧ポスターを約100箇所に掲示するとともに、JR水戸駅前電光掲示板や、県域ラジオでのCM放送及び全国紙や地元紙への新聞広告掲載を通して、県内全域かつ幅広い年齢層の県民に対してがん征圧メッセージを発信した。 |
| 栃木 | がんに対する知識と正しいがん対策を広くPRするために、「がん征圧運動キャンペーン」や「とちぎdeピンクリボン」を実施した。キャンペーンでは、約2,000人にがん征圧に関するキャンペーングッズを配布、ピンクリボンではオリジナルのバッジ・ストラップを作成し、がん征圧募金への協力をお願いした。 |
| 群馬 | 10月30日に上毛新聞主催のイベント会場(グリーンドーム前橋「ハワイアンinグリーンドーム」)で、がん患者連絡協議会による街頭キャンペーンを実施。がん患者団体連絡協議会関係団体(7団体)と財団職員が参加(延べ50名)し、県民に対し、がんに対する知識と正しいがん対策を広くPRした。 |
| 埼玉 | 対がん協会製作のポスター(2種類)について、埼玉県医師会加入の全医療機関に掲示をお願いし、広く県民へのアピールに努め、また、当事業団製作のリーフレット「がん征圧運動にご協力ください」も同時に配布し、がん征圧への寄附を募った。 |
| 千葉 | がん予防展、がん講演会を開催。ショッピングセンターで開かれたがん予防展には2200人が訪れた。講演会は、千葉県がんセンターの植田健氏、女優の仁科亜希子さん等が講演した。「リレーフォーライフ八千代」ではマンモグラフィ健診を実施した。 |
| 神奈川 | 例年、がん専門医による講演会を中心に征圧月間事業を実施しているが、平成18年から実施しているラジオ放送にて、今年度初めて「子宮頸がん」、「大腸がん」に加えて、歯科領域の「口腔がん」について放送した。ラジオ聴取者の反応では、ワクチンの話題性もあり、反響が一番多かったのが「子宮頸がん」だった。 |
| 新潟 | 新潟市で開催された県大会では、遠藤登喜子先生の特別講演、体験者の発表、アグネスチャンさんのDVDとどれも大変参考になり、検診の大切さと早期発見の大事さがわかったという声が多く聞かれた。 |
| 山梨 | 平成22年度は、がん征圧月間街頭キャンペーンを2回実施した。そのうち1回は、がん検診を推進している県内企業3社と県と協働でキャンペーンを展開した。また、これまでは征圧月間のみ実施していた「がん電話相談」「医師による面接相談」は10月から定期的に実施している。 |
| 長野 | 駅前キャンペーンのタイミングにあわせ、路線バスへのエプロン広告も展開した。駅前での広報活動に加え、ロータリーへエプロン広告バスが入ってくることによって、通行中の人に例年よりも効果的ながん予防PRができた。 |
| 富山 | 市町村の健康祭や当財団施設内でパネル展示を行った。また、乳がんの無料検診を実施した。このほか、電光掲示板や垂れ幕を使った屋外宣伝や地元紙などに景品付クイズ形式の普及啓発広告を掲載した。 |
| 石川 | 平成22年度のイベントは、従来の講演会形式をやめ、乳がんをテーマに、ピンクリボンメッセージウォーク2コース、マンモグラフィ無料検診、乳がんしこり模型触診体験、パネル展示などのブースを設け、新しく立ち上げたかなざわピンクリボンプロジェクトと共同でイベントを実施した。女優の田中美里さんはじめ700人が参加した。 |
| 福井 | 県内外から1,400人を超える参加をいただいた「がん征圧全国大会」を開催することができた。福井アピールでは、ハーブ演奏にのせて、がん早期発見・早期治療の重要性を訴え、がん死亡者の減少に向けて、粘り強く一歩一歩前進することを宣言した。 |
| 岐阜 | 岐阜新聞、朝日新聞、読売新聞に、岐阜県の現状、がん征圧スローガンの広告を掲載した。 |
| 静岡 | 静岡市で行われた県大会のほか、がん予防講演会を裾野市と富士宮市で開催。地元テレビ・新聞・ラジオへの広告及び検診受診の奨励のほか、街頭キャンペーンも実施してPRした。 |
| 愛知 | あいち健康プラザで開催された県民健康祭で、乳がん無料検診と乳がんのセルフチェック法の説明会、「がん検診・予防の体験文」の表彰を行った。 |
| 三重 | がん患者会主催の講習会「健診の受け方」を開催、健康まつりではパネル展示を行ったり、冊子やチラシを配布、また、「リンパ浮腫セルフケアセミナー」の講習会・相談会も開いた。 |

| | |
|-----|--|
| 滋賀 | 若い世代をターゲットに大学での啓発資材の配布、全市町に向けて「健康づくりイベント」や「保健センター行事」で啓発を行いました。配布する年代を考慮しティッシュだけでなく、ふせんの作成やリーフレットの図柄など、若い世代にも見てもらえるよう工夫した。 |
| 京都 | 「結核の予防とがんを考えるつどい」を開催。京都第二赤十字病院の柿原直樹氏が「胃がんの疫学とその治療」と題して講演。会場では、一新した啓発パネルを展示した。 |
| 大阪 | がんセミナー、公開講座、シンポジウム開催のほか、食料品店、理・美容院など大阪府公衆衛生協力会員の店舗で、がん予防のリーフレットを配布するキャンペーンを行った。 |
| 兵庫 | 県庁など県内3ヶ所にて征圧月間周知の横断幕・垂れ幕を掲示した。 |
| 奈良 | 県大会では、平日は忙しく検診を受診できない方々のため、また、もっと女性のがん検診への参加を増やすため、乳がん検診を大会で実施した。 |
| 和歌山 | 朝日新聞など全国紙への広告掲載、電光掲示板、職員のラジオ放送生出演などで検診の重要性を県民に幅広くPRした。 |
| 鳥取 | 県および県医師会と共催（新日本海新聞後援）で、がん征圧月間及び県大会の周知を目的にがん撲滅キャンペーンを行い、県大会を開催した。今大会では、大腸がんをテーマに米子医療センターの木村修氏の特別講演を開いた。また、受診率の高い市町村への知事表彰や、がん拠点病院の相談支援の活動を紹介した。 |
| 島根 | 征圧月間初日に県、市、がんサロンなどの団体と松江駅前ではがん予防についてのチラシを配布し啓発活動を行った。休日のショッピングセンターで2日間にわたり胃がん・子宮がん・肺がん・乳がん検診を行った。 |
| 岡山 | 9月1日、約650人の参加を得てがん征圧県大会を開催。「受けて安心 がん検診-乳がん-」と題して3名の講師を招いてシンポジウムを開催した。併せて乳がん触診モデル・禁煙啓発ポスターを展示した。 |
| 広島 | 電光掲示板での標語やがん検診受診の啓発及び当センターで喫煙防止のポスター展やがん予防パネルの展示をした他、広島県健康福祉祭でがん予防パネルの展示、大型商業施設でがん予防のチラシやポケットティッシュの配布、がん無料検診を実施した。 |
| 山口 | 下関市で開催された「やまぐち元気フェア」で骨粗鬆症健診を実施。県内7カ所で電光掲示板を使ってPR、また全国紙・地元紙にも広告を掲載して啓発した。 |
| 徳島 | 徳島県と財団法人・徳島県総合健診センターの共催により、「健康を考える県民のつどい」を開催した。また、がん征圧月間用カッティングシールを作成し、胃がん検診車の側面に貼り付け、がん予防の普及啓発に努めた。 |
| 香川 | 10月30日に、香川県主催「かがわ県民健康大勉強会」のコラボレーション企画として当協会2台目のマンモグラフィ検診車の披露式、乳がん・子宮頸がん・肺がんの無料検診、がん相談を行った。 |
| 愛媛 | がん征圧月間中は、市内電車内の映像による広告、JR駅構内にポスターの掲示、懸垂幕の設置等がんの正しい知識の普及、早期発見・早期治療を伝える活動を実施した。 |
| 高知 | 無料検診（胸部、胃がん、乳がん、子宮がん検診）を実施した。事前に折込みチラシを配布し、ハガキで申し込んでもらい、公開抽選で受診者を決定し受診していただき、当日、がん関連の資料等も配布した。 |
| 福岡 | 毎年開催している講演会「がん征圧の集い」を今年も開催し、「笑って学んでがん予防」をテーマに、学術講演、笑い塾による講演、リレーフォーライフのPRと、涙あり笑いあり、大変好評で県民約300名の参加があった。 |
| 佐賀 | 今年度は、昨年に引き続き無料クーポン券の影響もあり、乳がん検診及び子宮がん検診に対する関心が高く、乳幼児のいる若い夫婦を対象とした「2010ばぶばぶフェスタどん3」においても盛況であった。 |
| 長崎 | 西日本新聞に「がんについてよく考えよう」の広告を掲載して、征圧月間をPR。 |
| 熊本 | 熊本市内で開催したヘルシーデイ熊本では、健康を守る婦人の会熊本市支部の皆さんや熊本市職員と一緒にがんに関するパネル展示やがん撲滅のための普及活動を行った他、地元ボランティア団体へステージショーを依頼し、大盛會を納めることができた。 |
| 大分 | 大分合同新聞、朝日新聞、読売新聞にがん征圧月間広告を掲載。県内のがん精密検診協力医療機関にがん征圧月間ポスター、がん予防ポスターを配布。 |
| 宮崎 | 各健康まつりの参加に加え、征圧月間に宮崎市で県庁前から市街地までパレード及び街頭キャンペーンを実施、また、県南県北（日南市・延岡市）のショッピングモールでのキャンペーンを行った。実施にあたり県及び市の健康増進課、地域婦人連絡協議会、がん克服者団体の参加を頂き多くの県民・市民への啓発ができた。 |
| 鹿児島 | 「かごしまがん征圧県民大会」を開催し、講師に垣添・日本対がん協会会長をお招きした。大会では講演に加え、声楽で有名な鹿児島大学医学部教授のミニコンサートを行うことで、和やかな雰囲気作りができた。 |
| 沖縄 | 沖縄県のがんの部位別死亡率は、男女ともに肺がんが第1位であり、予防対策の一環としてマルチヘリカルCT検診車を活用し、肺がんCT検診の受診を呼びかけ早期発見の重要性をアピールした。 |

さらなる受診者拡大・精検受診率の向上・「検診を受けることの意味の啓発」

「2009年度がん検診実施状況」で浮かび上がった課題 子宮頸がん・乳がん検診

日本対がん協会が、全国の支部の協力を得てまとめた「2009年度がん検診の実施状況」で、大きな課題が改めて浮かび上がった。「さらなる受診者の拡大」と「精密検査受診率の向上」だ。国が導入した女性特有のがん(子宮頸がん・乳がん)検診の無料クーポン券で受診者が増え、見つけたがんも増えた。当然のこととはいえ、とくに子宮頸がんでは「異常」が早く見つかる傾向が顕著に表れた。今回受診しなければ、見つかるまでに進行してしまっていたかも知れないケースが少なからず救われたと言える。ただ、受診者が増えたといっても、全体からみればまだまだ。精密検査の受診率も前年度よりわずかながら下がっている。「検診を受けることの意味」を強く訴えることの重要さが再確認された。

【がんの発見状況・子宮頸がん「早期発見」が増える】

「2009年度がん検診の実施状況」によると、子宮頸がん検診の受診者は、145万7009人で、08年度(126万9064人)より18万7945人増えた。増加率は14.81%。これほどの伸びを示したのは子宮頸がん検診の対象年齢の変更など、国の指針が変更された2003年度以降で初めてのことだった。

この受診者145万7009人のうち、要精密検査と判断されたのは1万4519人(1%)で、1万598人が精密検査を受けていた(精密検査受診率は81.6%)。

がんが見つかった人は947人。08年度の673人よ

りも274人多かった。その増加率は40.7%と、受診者数の伸び(14.81%)の2倍以上の高い数値となった。受診者全体からみたがん発見率は0.07%。08年度(0.06%)より0.01ポイント上がっていた。

見つかったがんの内訳は、上皮内がん676人、浸潤がん255人、その他49人。上皮内がんと浸潤がんは08年度よりそれぞれ188人、70人増えた(その他は2人減)。

これを発見率でみると、浸潤がんは両年度とも0.02%だったのに対し、上皮内がんは09年度が0.05%で、08年度の0.04%より

【がんの発見状況・乳がん】

乳がん検診の受診者は09年度132万9136人で、08年度(110万2092人)より22万7044人増えた(増加率は20.6%)。このうち、要精密検査と判断されたのは、8万4482人(6.4%)

で、7万2527人が精密検査を受けていた(精密検査の受診率は86.5%)。

がんが見つかった人は2966人で、08年度(2416人)より550人増えた。増加率は22.76%で、子宮頸

◆子宮頸がん検診受診者等の推移(「2009年度がん検診の実施状況」より)

| | 2009年度 | 2008年度 | 増減 | 伸び率 |
|------------|---------------|--------------|-----------|---------|
| 受診者数 | 145万7009人 | 126万9064人 | +18万7945人 | +14.81% |
| 要精密検査者(率) | 1万4519人(1%) | 1万990人(0.9%) | +3529人 | +32.11% |
| 精検受診者(率) | 1万598人(81.6%) | 8170人(83.3%) | +2428人 | +29.72% |
| がん発見数(率) | 947人(0.07%) | 673人(0.06%) | +274人 | +40.71% |
| 上皮内がん(率) | 676人(0.05%) | 488人(0.02%) | +188人 | +38.52% |
| 浸潤がん(率) | 255人(0.04%) | 185人(0.02%) | +70人 | +37.84% |
| その他 | 49人 | 51人 | -2人 | -3.92% |
| 異型上皮発見数(率) | 5019人(0.38%) | 3608人(0.31%) | +1411人 | +39.11% |

◆乳がん検診受診者等の推移(「2009年度がん検診の実施状況」より)

| | 2009年度 | 2008年度 | 増減 | 伸び率 |
|-----------|----------------|----------------|-----------|---------|
| 受診者数 | 132万9136人 | 110万2092人 | +22万7044人 | +20.6% |
| 要精密検査者(率) | 8万4482人(6.4%) | 7万4874人(6.8%) | +9608人 | +12.83% |
| 精検受診者(率) | 7万2527人(86.5%) | 6万4886人(88.2%) | +7641人 | +11.78% |
| がん発見数(率) | 2966人(0.22%) | 2416人(0.22%) | +550人 | +22.76% |

0.01ポイント上がっていた。つまり、「ごく初期」に見つかったケースが増えたと言える。

前がん病変を含む「異型上皮」の発見ぶりをみると、その傾向は顕著になる。09年度は5019人で、08年度(3608人)よりも1411人、39.11%増えた。伸び率は、検診受診者の増加率を上回り、発見率0.38%は、08年度の0.31%

がんのように顕著ではないものの、受診者数の伸びよりもやや高い傾向を示していた。発見率は両年度とも0.22%だった。

乳がんでは、「早期発見」を裏付けるようなステージ別の発見率は明らかではない。しかし以下に述べるよ

り0.07ポイントも高く、記録の残る1974年以降で最も高くなった。

検診の受診者が増えれば、がんが見つかる人が増えるのは、当然のことだ。しかし、今回の「2009年度がん検診の実施状況」から、子宮頸がんの場合は、その発見が、「早期発見」につながった可能性が大きいことがうかがえた。

うに、09年度は全体的に若い世代での受診者が増加していることや、無料クーポン券の対象となった年齢層のいずれの層でも初回受診者が2倍以上増えていることから、早期発見が増えたのではないかと、思慮される。

【増えた理由は女性特有の無料クーポン券】

受診者が増えた理由は、「女性特有のがん検診の無料クーポン券と検診手帳」が配布されたことによると考えられる。

無料クーポン券と検診手帳を配布する政策は国が09年度の補正予算で「緊急経済対策」の一環として導入した。子宮頸がん検診では20歳から5歳刻みで40歳まで、乳がん検診では40歳から5歳刻みで60歳まで、住民票のある市区町村から個別に配布された。

この効果を調べようと、日本対がん協会は昨年5月、各支部にアンケートを

実施。07~09年度の3年間続けて検診を受託した市町村で、対象年齢の受診者数の推移を尋ねた。

子宮頸がん検診の場合(有効回答は28支部)、各年齢層の合計で09年度は08年度より2.6倍に増えていた。若い世代に顕著で、20歳は9.6倍、25歳では4.5倍。もともと受診者数が少ないとはいえ、その伸び率には目を見張るものがあった。

さらに特徴的なのは、「初回受診者」の増加ぶりだ(有効回答は22支部)。20歳で10.9倍、25歳は6.0。各年齢層の合計でも3.7倍。

つまり、無料クーポン券によって、「背中を押された」若い人がそれほど多かった、ということを示している。

乳がんでは、子宮頸がんのように顕著ではないものの、無料クーポン券が配布された各年齢層合計での受診者は、08年度から09年度にかけて1.8倍に。若い年代でやや伸びが高い傾向がみられた。「初回受診者」は、各年齢層とも2倍を超えていた。ただ、初回受診者の場合は、若い世代での特徴的な増加ぶりは見られなかった。

【課題】

い。受診率向上目指して、行政の主導的活動の強化はむろんのこと、関係機関が連携をとって積極的な啓発が重要だ。

もう一つ、「2009年度がん検診の実施状況」で再認識させられた課題がある。それは精密検査の受診率だ。

子宮頸がんの場合、要精密検査と判断された人は1万4519人。うち精密検査を受診したのは1万598人で、精密検査受診率は81.6%。08年度(83.3%)より、1.7ポイント下がった。残る19.4%、すなわち3921人は2009年度中には精密検査を受けていなかった。精密検査を受けた1万

598人から947人に見つかったのが、精密検査受診者中のがん発見率は8.94%になる。精密検査を受けていない人の中でも同じ確率でがんが見つかるかと仮定した場合、ざっと488人になる計算だ。

がん検診を受ける人が増えても、精密検査の受診率が下がれば、折角早くつけられるチャンスを失う人が増えることにつながる。国のがん対策推進基本計画が目標とする「検診受診率50%以上」に向けた取り組みの重要性はもちろんのこと、検診を受けることはどういうことなのか、その意味合いを伝えること、すなわち、がん教育の重要性が改めて確認されたと言える。

精密検査受診者中におけ

2009年度 がん検診の実施状況から ◆乳がん

| 団体 | 受診者数 (A) | 要 精検者数 (B) | 要 精検率 B/A×100 | 精 検 受診者数 (C) | 精 検 受診率 C/B×100 | 検査結果 | | | 乳がん 発見率 D/A×100 |
|-----|-------------|------------------|---------------------|--------------------|-----------------------|------------|-----------|----------|-----------------------|
| | | | | | | 乳がん (D) | 慢性 乳腺症 | 繊維 腺腫 | |
| 北海道 | 79,498 | 2,507 | 3.2 | 2,437 | 97.2 | 331 | 395 | 152 | 0.42 |
| 青森 | 30,868 | 2,353 | 7.6 | 2,123 | 90.2 | 68 | 0 | 65 | 0.22 |
| 岩手 | 38,780 | 1,210 | 3.1 | 1,126 | 93.1 | 86 | 342 | 61 | 0.22 |
| 宮城 | 53,043 | 3,766 | 7.1 | 3,631 | 96.4 | 104 | 1,964 | 612 | 0.20 |
| 秋田 | 14,022 | 1,240 | 8.8 | 1,026 | 82.7 | 43 | 327 | 32 | 0.31 |
| 山形 | 38,292 | 2,319 | 6.1 | 2,088 | 90.0 | 71 | 241 | 102 | 0.19 |
| 福島 | 20,097 | 800 | 4.0 | 697 | 87.1 | 44 | 127 | 49 | 0.22 |
| 茨城 | 58,248 | 2,876 | 4.9 | 2,580 | 89.7 | 117 | 1,003 | 289 | 0.20 |
| 栃木 | 43,809 | 3,524 | 8.0 | 2,721 | 84.3 | 94 | 589 | 316 | 0.23 |
| 群馬 | 26,552 | 1,257 | 4.7 | 1,195 | 95.1 | 73 | 345 | 70 | 0.28 |
| 埼玉 | 51,389 | 3,639 | 7.1 | 2,959 | 82.2 | 113 | 893 | 295 | 0.22 |
| 千葉 | 163,612 | 8,111 | 5.0 | 7,279 | 89.7 | 241 | 2,514 | 1,668 | 0.15 |
| 新潟 | 75,073 | 6,824 | 9.1 | 6,037 | 88.5 | 187 | 1,320 | 404 | 0.25 |
| 山梨 | 8,772 | 480 | 5.5 | 295 | 61.5 | 10 | 70 | 29 | 0.11 |
| 長野 | 44,589 | 2,820 | 6.3 | 2,264 | 88.2 | 62 | 400 | 148 | 0.15 |
| 富山 | 47,998 | 3,350 | 7.0 | 2,954 | 88.2 | 96 | 602 | 176 | 0.20 |
| 石川 | 22,716 | 2,491 | 11.0 | 2,091 | 83.9 | 61 | 430 | 181 | 0.27 |
| 福井 | 21,309 | 2,112 | 9.9 | 1,892 | 89.6 | 88 | 542 | 121 | 0.41 |
| 愛知 | 9,254 | 663 | 7.2 | 546 | 82.4 | 23 | 53 | 54 | 0.25 |
| 三重 | 35,706 | 1,630 | 4.6 | 1,410 | 86.5 | 55 | 49 | 163 | 0.15 |
| 滋賀 | 9,331 | 938 | 10.1 | 902 | 96.2 | 19 | 357 | 58 | 0.20 |
| 京都 | 36,943 | 2,782 | 7.5 | 2,260 | 82.8 | 100 | 494 | 222 | 0.28 |
| 兵庫 | 17,457 | 1,284 | 7.4 | 891 | 69.4 | 32 | 178 | 74 | 0.18 |
| 和歌山 | 11,729 | 857 | 7.3 | 377 | 44.0 | 10 | 134 | 18 | 0.09 |
| 鳥取 | 9,910 | 816 | 8.2 | 694 | 88.9 | 23 | 126 | 28 | 0.23 |
| 島根 | 7,705 | 431 | 5.6 | 403 | 93.5 | 25 | 101 | 35 | 0.36 |
| 岡山 | 20,427 | 870 | 4.3 | 305 | 35.1 | 13 | 110 | 25 | 0.06 |
| 広島 | 21,394 | 1,282 | 6.0 | 1,099 | 85.7 | 41 | 281 | 91 | 0.19 |
| 山口 | 9,133 | 1,411 | 15.4 | 224 | 18.6 | 5 | 59 | 16 | 0.06 |
| 徳島 | 10,259 | 646 | 6.3 | 543 | 84.1 | 20 | 318 | 29 | 0.19 |
| 香川 | 10,773 | 1,010 | 9.4 | 967 | 95.7 | 37 | 86 | 62 | 0.34 |
| 愛媛 | 30,120 | 1,330 | 4.4 | 1,207 | 90.8 | 95 | 13 | 114 | 0.32 |
| 高知 | 22,245 | 1,408 | 6.3 | 1,291 | 91.7 | 52 | 355 | 89 | 0.23 |
| 福岡 | 62,802 | 4,707 | 7.5 | 4,289 | 91.1 | 211 | 676 | 287 | 0.34 |
| 佐賀 | 17,386 | 1,055 | 6.1 | 909 | 86.2 | 40 | 177 | 63 | 0.23 |
| 長崎 | 22,177 | 1,543 | 7.0 | 1,435 | 93.0 | 66 | 372 | 154 | 0.30 |
| 熊本 | 31,554 | 1,509 | 4.8 | 1,243 | 82.4 | 58 | 310 | 72 | 0.18 |
| 大分 | 22,797 | 2,166 | 9.5 | 2,030 | 93.7 | 55 | 212 | 112 | 0.24 |
| 宮崎 | 4,894 | 515 | 10.5 | 474 | 92.0 | 27 | 85 | 34 | 0.55 |
| 鹿児島 | 52,617 | 2,744 | 5.2 | 2,619 | 95.4 | 43 | 415 | 148 | 0.08 |
| 沖縄 | 13,856 | 1,206 | 8.7 | 1,014 | 84.1 | 27 | 217 | 104 | 0.19 |
| 合計 | 1,329,136 | 84,482 | 6.4 | 72,527 | 86.5 | 2,966 | 17,282 | 6,822 | 0.22 |

<注> 栃木、埼玉、長野、京都、鳥取、山口の精検受診率、
 がん発見率の分母から栃木(職域)・埼玉(職域の視触診とX線、視触診とX線と超音波)・長野(施設)・京都(X線のみ、超音波のみ)・
 鳥取(車のX線のみ、超音波のみ)・山口(車のX線のみ、超音波のみ)とがん発見率の分母から群馬(職域の視触診とX線)を除いて算出。
 <注> 合計欄の栃木、埼玉、長野、京都、鳥取、山口の精検受診率、検査結果発見率、がん発見率の分母から栃木(職域)・
 埼玉(職域の視触診とX線、視触診とX線と超音波)・長野(施設)・京都(X線のみ、超音波のみ)・鳥取(車のX線のみ、超音波のみ)・
 山口(車のX線のみ、超音波のみ)とがん発見率の分母から群馬(職域の視触診とX線)を除いて算出。

2009年度 がん検診の実施状況から ◆子宮頸がん

| 団体 | 受診者数 (A) | 要 精検者数 (B) | 要 精検率 B/A×100 | 精 検 受診者数 (C) | 精 検 受診率 C/B×100 | 検査結果 | | | | が ん 発見率 D/A×100 | その他 のがん |
|-----|-------------|------------------|---------------------|--------------------|-----------------------|----------|-----------|----------|------------|-----------------------|------------|
| | | | | | | 異型 上皮 | 上皮内 がん | 浸潤 がん | がん計 (D) | | |
| 北海道 | 80,255 | 300 | 0.4 | 286 | 95.3 | 114 | 95 | 28 | 123 | 0.15 | 0 |
| 青森 | 41,651 | 642 | 1.5 | 530 | 82.6 | 253 | 43 | 17 | 60 | 0.14 | 0 |
| 岩手 | 49,404 | 567 | 1.2 | 495 | 87.3 | 277 | 47 | 7 | 54 | 0.11 | 2 |
| 宮城 | 113,156 | 922 | 0.8 | 887 | 96.2 | 305 | 21 | 12 | 33 | 0.03 | 2 |
| 秋田 | 18,311 | 209 | 1.1 | 178 | 85.2 | 82 | 21 | 3 | 24 | 0.13 | 0 |
| 山形 | 49,602 | 715 | 1.4 | 197 | 81.4 | 93 | 21 | 1 | 22 | 0.06 | 0 |
| 福島 | 82,792 | 580 | 0.7 | 545 | 94.1 | 276 | 46 | 15 | 61 | 0.07 | 8 |
| 茨城 | 91,160 | 1,521 | 1.7 | 1,142 | 75.1 | 499 | 22 | 12 | 34 | 0.04 | 4 |
| 栃木 | 40,271 | 257 | 0.6 | 197 | 76.7 | 125 | 17 | 6 | 23 | 0.06 | 0 |
| 群馬 | 35,517 | 432 | 1.2 | 348 | 80.6 | 61 | 22 | 8 | 30 | 0.08 | 1 |
| 埼玉 | 12,496 | 163 | 1.3 | 115 | 73.7 | 55 | 7 | 3 | 10 | 0.08 | 1 |
| 千葉 | 131,443 | 1,584 | 1.2 | 814 | 76.7 | 455 | 7 | 28 | 35 | 0.03 | 0 |
| 新潟 | 57,340 | 749 | 1.3 | 561 | 74.9 | 271 | 38 | 13 | 51 | 0.09 | 1 |
| 山梨 | 252 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0 |
| 長野 | 24,473 | 94 | 0.4 | 39 | 69.6 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.00 | 0 |
| 富山 | 53,267 | 372 | 0.7 | 340 | 91.4 | 211 | 42 | 10 | 52 | 0.10 | 3 |
| 石川 | 17,863 | 199 | 1.1 | 162 | 81.4 | 94 | 9 | 6 | 15 | 0.08 | 0 |
| 福井 | 24,495 | 310 | 1.3 | 272 | 87.7 | 152 | 15 | 3 | 18 | 0.07 | 0 |
| 愛知 | 12,361 | 136 | 1.1 | 103 | 75.7 | 57 | 5 | 1 | 6 | 0.05 | 0 |
| 三重 | 20,739 | 124 | 0.6 | 99 | 79.8 | 47 | 11 | 3 | 14 | 0.07 | 0 |
| 滋賀 | 8,406 | 46 | 0.5 | 42 | 91.3 | 20 | 4 | 1 | 5 | 0 | 0 |
| 京都 | 15,534 | 97 | 0.6 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 兵庫 | 20,899 | 226 | 1.1 | 169 | 74.8 | 55 | 5 | 3 | 8 | 0.04 | 2 |
| 和歌山 | 3,810 | 29 | 0.8 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 鳥取 | 34,443 | 370 | 1.1 | 59 | 80.8 | 32 | 4 | 1 | 5 | 0.04 | 0 |
| 島根 | 12,080 | 114 | 0.9 | 95 | 83.3 | 0 | 6 | 1 | 7 | 0.06 | 4 |
| 岡山 | 35,913 | 240 | 0.7 | 104 | 60.1 | 26 | 4 | 0 | 20 | 0.07 | 0 |
| 広島 | 15,983 | 181 | 1.1 | 148 | 81.8 | 78 | 14 | 3 | 17 | 0.11 | 0 |
| 山口 | 5,449 | 71 | 1.3 | 28 | 39.4 | 17 | 3 | 1 | 4 | 0.07 | 0 |
| 徳島 | 5,479 | 82 | 1.5 | 73 | 89.0 | 33 | 2 | 1 | 3 | 0.05 | 0 |
| 香川 | 13,885 | 123 | 0.9 | 103 | 83.7 | 56 | 9 | 4 | 13 | 0.09 | 0 |
| 愛媛 | 28,857 | 122 | 0.4 | 109 | 89.3 | 59 | 20 | 5 | 25 | 0.09 | 6 |
| 高知 | 24,532 | 59 | 0.2 | 36 | 61.0 | 17 | 1 | 4 | 5 | 0.02 | 0 |
| 福岡 | 62,643 | 603 | 1.0 | 521 | 86.4 | 260 | 19 | 15 | 34 | 0.05 | 1 |
| 佐賀 | 28,123 | 473 | 1.7 | 347 | 73.4 | 211 | 10 | 4 | 14 | 0.05 | 0 |
| 長崎 | 20,427 | 159 | 0.8 | 138 | 86.8 | 89 | 8 | 1 | 9 | 0.04 | 5 |
| 熊本 | 37,542 | 474 | 1.3 | 324 | 68.4 | 148 | 22 | 6 | 28 | 0.07 | 1 |
| 大分 | 26,850 | 585 | 2.2 | 495 | 84.6 | 254 | 10 | 3 | 13 | 0.05 | 7 |
| 宮崎 | 18,497 | 266 | 1.4 | 235 | 88.3 | 102 | 14 | 5 | 19 | 0.10 | 1 |
| 鹿児島 | 66,912 | 223 | 0.3 | 194 | 87.0 | 98 | 25 | 20 | 45 | 0.07 | 0 |
| 沖縄 | 13,897 | 100 | 0.7 | 68 | 68.0 | 37 | 6 | 1 | 7 | 0.05 | 0 |
| 合計 | 1,457,009 | 14,519 | 1.0 | 10,598 | 81.6 | 5,019 | 676 | 255 | 947 | 0.07 | 49 |

<注>当該欄の要精検率分母から岩手(施設)を除く。 0.38 0.05 0.02 ←発見率
 各当該欄の精検受診率分母から福島・埼玉・長野(以上施設)、山形・千葉・鳥取・岡山(以上日母)を除く。
 各当該欄のがん発見率分母から岩手・福島・埼玉・長野(以上施設)、山形・千葉・鳥取・岡山(以上日母)を除く。
 合計欄の要精検分母から岩手(施設)を除く。
 合計欄の精検受診率分母から京都・和歌山(以上車)、福島・埼玉・長野・京都(以上施設)、
 山形・千葉・鳥取・岡山(以上日母)を除く。
 合計欄の検査結果発見率分母から京都・和歌山・岡山(以上車)、岩手・福島・埼玉・長野・京都(以上施設)、
 山形・千葉・鳥取・岡山(以上日母)を除く。
 合計欄のがん発見率分母から京都・和歌山(以上車)、岩手・福島・埼玉・長野・京都(以上施設)、
 山形・千葉・鳥取・岡山(以上日母)を除く。

女性アスリートの協力で チャリティークショーによる寄付を協会へ

ゴルフ専門TV『ゴルフネットワーク』(東京都港区)が乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える、「ゴルフネットワーク ピンクリボン チャリティーク 2010」を12月16日(木)、東京都恵比寿の恵比寿ザ・ガーデンルームで開催した。

チャリティークには、トリノオリンピックフィギ

ュアスケート金メダリストで、プロフィギュアスケーター荒川静香さん、シドニー五輪競泳女子400メートルメドレーリレー銅メダリストでスポーツcommentーターの田中雅美さん、プロゴルファーの諸見里しのぶさんらがイベントの趣旨に賛同して出演。女性アスリートとしての体のケアなど「健康と美」をテーマにト



日本対がん協会の塩見知司事務局長に目録を贈るジュピターゴルフネットワークの石井政士社長(右)

ークを繰り広げた。トークショーの終了後には出演者3人が持ち寄った愛用の品やプロゴルファーの石川遼さん、上原彩子さ

んが提供してくれた帽子などをオークションにかけて、その売上金すべて112万9924円が日本対がん協会に寄付された。

携帯電話を買えば、機器代金の一部が対がん協会に

テレコムサービスがチャリティ携帯

日本最大のソフトバンクモバイル販売網を持つテレコムサービス株式会社(本社 東京都豊島区、代表取締役 服部義一)が11日、「チャリティ携帯キャンペーン」を始めました。スマートフォンなどのソフトバンク携帯を同社で新規に契約すると、その携帯電話機器の代金の一部が日本対がん協会に寄付される仕組みで、対がん協会が進める「がん知識の普及、啓発、がん検診の推進運動」の支

援に使われます。携帯電話の契約をして機器を買うことで、がん征圧活動に貢献できる画期的な試みです。

チャリティ携帯に登録すると、対がん協会が監修したがんに関する情報のメールマガジンが配信されます。また、がん予防などの情報を、チャリティ携帯の申し込みの有無にかかわらず誰でも無料で見ることができるコンテンツをウェブ上で配信されます。チャリティ携帯を申し込むと、対

がん協会のピンクリボン運動のシンボルバッジ、がん患者・家族を支援するイベント、リレー・フォー・ライフのリストバンドがプレゼントされます。

対がん協会では、「スマートフォンなどの人気の携

帯電話を契約されると、利用者の負担がなく、当協会のがん撲滅へのさまざまな社会貢献活動にご寄付いただける、という画期的な仕組みだと思う。是非、より多くの方々にご利用いただきたい」と話しています。

- チャリティ携帯キャンペーンホームページ：
<http://charitys.jp/cm.html>
- チャリティ携帯に関するお問い合わせ：
チャリティ携帯運営事務局 (電)03-6421-7835
メールアドレス：info@charityplus.co.jp
info@charitys.jp

住友信託銀行が 対がん協会・ほほえみ基金へ寄付を

住友信託銀行(大阪市中央区)は「ピンクリボン運動応援特別企画」(2010年10月から11月中旬まで)を実施し、「乳がんをなくす ほほえみ基金」へ200万円を寄付した。これは昨年度から始まった試みで、対象となる定期預金等の預け入れ件数に応じた金額を寄付するという企画。住友信託銀行は平成17年度からピンクリボン運動に参加し、各店舗でのポスター掲示やチラシ配布、イメージキャラクターを使ったオリジナルピンクリボンの製作など、その他さまざまな活動を行ってきた。今回の寄付もその活動の一環として行われた。

対がん協会

「本部・支部」の呼称が可能に 内閣府の解釈変更 理事会に提案へ

日本対がん協会グループと、各地の提携団体の関係を示す呼称について近く、従来のように「支部」という呼び方ができるようになります。

新しい公益法人制度の下では、内閣府は、決算が連結していなかったり、人事、組織が別の法人だったりする関係では、本部・支部という呼び方は認めな

い、としていましたが、このほど、その考えを変更したためです。

日本対がん協会では、昨年12月に決めた「グループ規程」の改正を3月に予

定している理事会に諮るなどの手続きを進める方針です。詳しいことは、理事会で承認が得られた後に、対がん協会報で紹介します。